



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1992. 6 . 23

累計 No 274

当年 No 49

会長／山上茂夫

幹事／堀川正幸

SAA／味方義一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： ロータリー財団セミナーに参加して ロータリー財団委員会 次期委員長大野新吉君

出席： 本日の出席 56名中41名

先週の出席率 56名中52名 92.86%

先週のメイクアップ： 6月13日～15日 国際ロータリー年次大会（オランダ）へ 山上茂夫君

6月17日 三条RCへ 阿部誠一郎君 山口龍二君 坂内康男君

6月17日 秋田RCへ 柄沢憲司君

6月22日 三条南RCへ 加藤 実君 山本 充君 佐藤啓策君

ビジター： 三条RCより 堀川政雄君

三条南RCより 吉井正孝君

会長挨拶： 山上茂夫

今日は久しぶりに皆さんとお会い致します。オランダウ（世界大会開催地）と云って留守にしておりました。今日は私の年度で多分最後の御挨拶になるかと思ひます。何もお土産はございませんが、元気な顔と絵ハガキを少々もって参りました。マスコミの山崎さんにはアチラの新聞をもって参りました。三条新聞もカラーになっておりますが、カラフルな新聞ですので参考になればと思っております。

アメリカは初めてでしたが、成田からノースウエストでダイレクトに……。着いたところはデトロイトでした。そこから再びドメスティックで乗り継ぎをし、3時間位でフロリダのオランダウに着きました。兎に角長時間の旅で日付変更もあり、時間差もあるので、機内で13日の夕食をとって少し経ってから、13日の昼食と云うことでビックリしました。

アメリカはお土産はポストカードと云うことで「必ず出して下さいネ」と云われていましたのでデトロイト空港で乗り継ぎの短時間の内に、ポストカードを書いて出そうとしましたが、ゲートインしているので切手もポストも外でなければ駄目との事。それでも急いで出しに行こうと思ったの

で小走りに走っていましたが、アメリカの若いお嬢さんが「どうかしましたか？」と言って私のハガキを見て、「私もポストカードを出しに行くんです」と云い「切手の代金はいりません」と大変親切でした。私がはじめてアメリカで体験したことで親切だと云うよい印象を持ちました。

オランダウはウォルトディズニーの敷地内のドルフィンと云うホテルでしたが、何しろ大きく1509室もあるとの事でした。ディズニーランドの敷地は甲子園の27倍で皇居の4倍の広さとのことで、その中に4つのホテルがある相です。

大会会場はその敷地外のコンベンションホールで行われました。私は開会式に出席し、テーブルでとって来ました。開会式は各国のロータリーの旗を旗手が持って入場し、次いでパスト会長や次期会長、オランダウの市長さんなどが紹介されて始まりました。オランダウの市長さんは女性でした。サブ会長は御挨拶の中で今年度の業績報告をされ、ロータリーの果たした役割りや意義について話をされました。

例えば42のプロジェクトでロータリーが地域のニーズに合った奉仕活動をしたこと、また心を開いて友好を深め旧ソ連などの諸国を含め10の国のロータリークラブの加盟があったこと。また、ブダベスト、ハンガリーなどの問題についても触れておられました。また、立ち遅れている国々アフリカなど、インドを含めロータリーの基金で学校を開設することが出来た事を熱意を以ってお話をされておりました。大体この様なお話だったと思います。日本語同時通訳もありましたが、私はFMラジオとイヤフォンを持って行かなかったのでテーブルをゆっくりときいてみたいと思っています。

それからサンフランシスコにワイフと2人で行き2泊し、ロスアンゼルスで皆と合流して帰って参りました。サンフランシスコでは一寸怖い目もしました。私達と一緒に市内観光に廻った御夫婦ですが、着いたばかりの方で荷物をホテルのフロントに預ける暇もなく、ガイドの「私達（山上夫婦）が待っているから荷物はそのまま早く……。私が車にいるから心配ない」と云われて、ゴールデンゲートパークに着いて車から降り、21分自由時間の内、5分位の間に持って来たバッグ、リュックなどを盗まれて仕舞いました。車にかぎは掛かっていました。私はカード、サイフを入れた粗末な袋を入口の傍に置いたのですが、被害に合わずに済みました。本当にお気の毒で言葉もありませんでした。ワイフが少しでも落ち着く様に安定剤を飲ませてあげたのですが、ワイフは東京で肩にかけたハンドバッグを去年引っ張られ財布を力づくで取られた経験がありますので自分の事の様にショックをうけていました。何は兎もあれ自分の事は自分で守らなければならないと云う気構えが必要ですが、日本人のガイドですから全く不運としか云い様がありません。

ロスアンゼルスの暴動の所も行って来ましたが、何しろ広い場所にあるショッピングストアで、TVでも報道されていましたが、コリアンが経営し銃で応戦している場面ですが、そこは道路が50m位の中で丁度原宿の様な感じで隣に店がズーッと連らなっていると云う訳でなく、ポツンと店がある様なところでした。只、TVの画面でみますと全体がそうかと思いますが、広いL・Aの一部

んと重田政信さんのお二人よりロータリー財団募金の五つの方法として ①会員より理解してもらっての積極的参加を呼びかける ②目標額を設定する ③寄付者を（ポールハリス・準フェロー）選定する ④計画書を作成する ⑤広報活動を忘れない 以上。

2:00よりロータリー財団活動事例発表が沼田RC、吉田RCよりあり2:20よりGSE（グループ研究交換会）帰国報告があり、終了しました。

2日目の7日(日)は新潟県民会館で全体での一連のセレモニーの後、各分科会に別れての部会があり、シャー制度（配分金制度）とGSEについての講演がリーダー藤田説量さん（三条）、サブリーダー堀井欣一さん（新潟）、同小山楯夫さん（新潟）、同鹿山徳男さん（太田）、同林和弘さん（高崎東）によって行われました。まとめとして、ロータリー財団委員会はクラブ会員より強制的でなく自発的に寄せられた愛の寄付金（財団基金）活動の結果がこんなにもすばらしい事が出来る活動資金になる事を広報活動を通して認識して頂き、目標プログラムを設定して国際親善及び世界の社会奉仕への発展を願う為の募金活動を推進する委員会であると責任の重大さに改めて思い知らされました。

新 旧 臨 時 理 事 会

日 時 平成4年6月23日（火） 11:00～12:30

会 場 三条ロイヤルホテル

出席者 山上茂夫 堀川正幸 高橋彰雄 今井克義 木宮 隆 味方義一 佐藤義英 稲田憲治
丸山誠一 村山誠一 羽賀一夫 早川瀧雄 稲田憲治 笹原勝治 芦田義重 佐藤啓策

議 事 1、次年度会費値上げの件 承認
2、事務局員次年度給与及びボーナス支給の件 承認
3、三条青年会議所主催 三条市民広場「Sanjoストリート92」の後援依頼の件 承認

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

I 真実かどうか III 好意と友情を深めるか
II みんなに公平か IV みんなのためになるかどうか

6月30日例会： 会長、幹事慰労会 18:30 さどや

7月7日例会： 会長・四大奉仕委員長今年度方針発表